

創立40周年記念

図書館要覧

1963. 11

町立小布施図書館



創立40周年を迎えて

町立図書館長 葦 沢 明 義



村立小布施記念図書館として、大正12年11月18日に開館されてより爾來40年、過ぎし年月は昨日の如くにも感ぜられるものであるが、顧みれば幾多の変遷と過程をたどり、今日に至った次第でありまして、誠に感銘深きものがあります。

こゝに改めて開設当時の関係者の御努力と、40年間の発展の過程における先輩諸氏の御尽力、並びに村、町当局をはじめとして、図書館の使命を御理解下され、陰に陽に御協力、御支援頂いた町民の皆様にご心より敬意と謝意を表する次第であります。

小布施図書館は開設当初より、村立としては県下に誇るものであり、今日町立図書館としても、歴史的にまた資料面に於て、他の追随を許さぬものがあり、小布施町文化向上の指針として御同慶にたえません。

併しながら、現今社会教育の重要性が叫ばれてまいりましたとき、その分野を受持つ図書館の使命と責務も一層大なるものと存じます。

図書館が一般社会人の知性の向上をめざし、学問研究はもとより、読書の涵養をはかり、知識の増進と、教養の向上に資し、人間生活の美化改善をもたらし、町、国づくりの進展に寄与してまいり得ることを念願し、内容の充実と運営の合理化に努力致していきたい所存であります。

こゝに創立40周年を迎えて、図書館要覧を発刊し、図書館への御理解を深めていただきますと共に、一層の御利用を御すゝめ致す次第であります。全町民の図書館として今後とも御支援をお願い致し、発刊の御挨拶と致します。

図 書 館 現 況

- ◎ 職員 館長 1人（公民館長兼任） 司書 1人（専任）
- ◎ 予算 総額 797,770円 図書購入費 271,980円
（特志寄附 100,000円）
- ◎ 委員 図書館協議会委員 10人 図書委員 10人
- ◎ 施設 閲覧室 105.6㎡ 閲覧席 54席 書庫 19.8㎡
- ◎ 資料 図書 10616冊（内訳は下記の通り 昭和38年10月現在）
雑誌 購入 4 寄贈 8 新聞 購入 1 寄贈 5

分類	内 容	冊 数	分類	内 容	冊 数
000	総 記	489冊	100	哲 学	375冊
200	歴 史	755	300	社 会 科 学	720
400	自 然 科 学	357	500	工 学 ・ 工 業	242
600	産 業	311	700	芸 術	356
800	語 学	110	900	文 学	2,593
F	日本現代小説	926	N	郷 土 資 料	165
	古 書 ・ 格 納 図 書	2,085		鴻 山 文 庫	1,132

沿革概要

- 大正12年、当時の摂政の宮皇太子祐仁親王殿下の御成婚、ならびに学制頒布50周年記念事業として、小布施村長の市村連が主唱して、当時の学務委員を始め、小学校長、小布施村軍人分会、青年会、同窓会等の役員と相はかり、村営図書館の設置を計画し、9月1日小布施村会はこれを決議した。

市村村長は熱誠卒先この実現に尽し、多大の犠牲と献身的努力の結果、大正12年11月県知事の認可を得て「村立小布施記念図書館」を設立、閲覧室兼書庫を小布施小学校第5校舎の階上に置き、大正12年11月18日盛大な開館式を挙行了した。

- 創立当初、係職員等専ら、館内諸設備の整備、規則の制定、図書目録の作成、図書の分類整理その他一般事務の処理に当る。特に図書の購入は、時あたかも関東大震災の後のこととて、枢要貴重書の蒐集には少からず悩まされた。

幸に村民一般の熱心な援助と寄附行為によって、図書館事業としての基礎が固められ、予期3ヶ年計画を半才を出でずして成り、速かに閲覧開始を見るに至った。

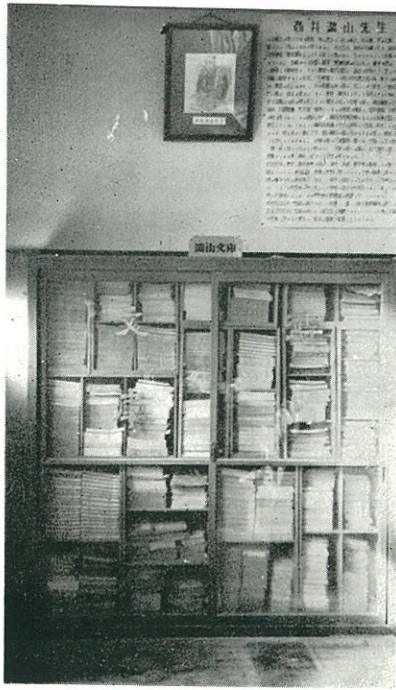
同時に児童文庫を設け、小学校児童の課外読物として提供した。学校は児童読物時間割を設定して、毎週正課として閲覧を指導したり、高学年生には日曜祭日の閲覧も許した。なお閲覧室当番は、図書館役員、学校当直職員が依頼されていた。

又市村村長が主唱して村民中結婚した者には、その記念として、且つ生活改善の意味を以って無駄な費用を節約して、図書館へ若干の記念寄贈をなす例を作った。



本間県知事視察（大正13年5月）村立小布施記念図書館

- 大正13年、市村村長の斡旋尽力によって、郷土の儒者高井鴻山の遺書をあまねく蒐集して「鴻山文庫」を館内に創設した。
- 昭和20年、日本は幸か不幸か、いまだかつてない敗戦の苦杯をなめ終戦後の混乱期を迎え、昭和21年1月太平洋戦争関係図書、その他一



鴻山文庫（上は高井鴻山の肖像）

部の図書を大量に焼却破棄して、一時貸出しを停止した。

- 昭和22年4月29日、混乱した世相の中から、祖国再建への活路を開くべき原動力として、小布施村公民館が設置され、村立小布施図書館は小布施村大字小布施1508番地、小布施村役場隣接の公民館内に移転再開した。従来学校長が兼任していた図書館長は以後公民館長の兼務となった。
- 昭和26年2月28日、図書館法改正に伴い図書館設置報告書を提出して、新たに村立小布施図書館として発足した。
- 昭和27年11月1日、小布施村教育委員会の設置に伴い、図書館は以後、村長の管理から教育委員会の管理となる。
- 昭和28年9月、図書館設立

30周年を期し、記念事業として図書館充実を画し、村民中から篤志寄附金10万円を募り、良書新刊書を大量に購入した。

- 昭和28年6月から3ヶ月余を費して、従来の図書分類を日本十進分類法に改め、書架を開架式に改める等の大改革を断行し、名実共に近代図書館として発足した。同年10月第3回北信越5県図書館大会が長野市に開催され、その際小布施図書館へ見学に来館。
- 昭和28年6月、苹果栽培の先覚者、平松藤内翁の頌徳碑建立を記念し、図書基金として5万円の寄贈を受け、農業関係書類を大量に購入し、名付けて平松記念文庫と称す。
- 昭和29年10月31日、小布施町と都住村との合併により、村立小布施図書館を廃館にし、同年11月1日町立小布施図書館を設置する。
- 昭和34年12月、新図書館落成に伴い、青年団幹事、母親文庫役員等の応援を得て、大字小布施1580番地から大字小布施1491の2（現位置）へ図書館を移転する。

この移転による図書整理のため、11月27日から12月20日迄の間、図書の貸出しを中止する。

- 昭和38年10月、東京都の西原和吉氏（本町林出身）から資料購入資金として10万円の篤志寄附を受け新刊書を購入す。
- 昭和38年11月29日、公民館ホールに於いて、図書館創立満40周年記念祝典を挙げる。



旧図書館（図書整理中 昭和29年）



現 図 書 館 内 部

歴 代 館 長 (○印は館長代理)

代	氏 名	就任年月日	代	氏 名	就任年月日
初	中 沢 照 琳	大正12・11	8	林 柳 波	昭和22・4・29
	○増田 経 三	15・12・20	9	市 村 公 平	24・4・11
2	清 水 政 吉	昭和2・4・8	10	村 松 清	26・4・1
3	丸 山 政 雄	8・3・31	11	市 村 公 平	27・4・1
4	清 水 虎 治 郎	13・3・31	12	平 松 幸 五	29・5・10
5	大 峡 三 雄	15・4・1	13	葦 沢 明 義	34・4・1
	○山 岸 吉 治	18・11・20		○池 田 亀 松	34・12・7
6	坂 田 豊 太 郎	19・4・1	14	池 田 亀 松	35・4・18
7	稲 田 猶 治	20・12・21	15	葦 沢 明 義	36・5・18

母 親 文 庫

小布施町の図書館では、婦人層への読書普及をよびかけ、昭和30年4月から、母親クラブを運営母体に、町自体の母親文庫が発足した。(会員数880人、240グループ)

34年12月須高配本所が設置されると同時に、他町村の母親文庫と歩調を合わせるため、従来文庫を廃し、須高配本所の傘下に入り現在に至っている。この間、読書、映画、子どものしつけ等の話し合い、研究集会の開催、意見発表会など、活潑な動きを見せている。(現在の会員数は447人、114グループ)



上は 西原和吉氏寄贈図書
左は 母親文庫研究集会(35年)

閱 覧 案 内

閱覧規定抜粋

- 図書館の本は、町内に居住する中学生以上の者は、誰でも借りられます。
- 閱覧室へ入ったり、本を借りる者は規定の紙用に氏名等を記入して係員に提出して下さい。
- 一回に借りることのできる本は、一人二冊以内です。
- 借りられる期間は十日間以内です。
- 本は他人に又貸ししないで下さい。
- 貸出しのできない本は次のものです。
辞・事典類、貴重図書、写真集、特殊図書、雑誌、新聞、その他携出不適当と認めたもの。

開 館 日 時

月曜日 休 館
火～金 午前8時半～午後5時
土曜日 午後1時～午後5時

休 館 日

年始年末、12月29日～1月3日
国民の祝日、月曜全日、土曜午前中
臨時休館（事情によって定める）

町 の 概 況

- ◎ 人 口 9,968人 (38.11.1現在)
- ◎ 戸 数 1,946戸 (38.11.1現在)
- ◎ 海 抜 353m
- ◎ 面 積 1,937平方km
(南北約6.1km 東西約6.1km)
周囲 20.4km
- ◎ 特産物 りんご、くり、そさい

予算のうつまりかわり
(かっこ内は公民館費)

年度	図書館費	図書購入費
昭和3	863円	500円
8	1,174	100
13	875	300
18	1,073	300
23	(173,868)	7,700
28	(565,250)	97,600
33	363,040	139,720
38	797,770	271,980

利 用 状 況

昭和36年度



数字で見る
利用のようす

年度	人員	冊数
大正14	2,408	2,647
昭和6	1,138	1,462
16	1,307	2,311
26	1,323	1,885
36	4,200	6,462

(館外利用のみ)

昭和37年度 自治会別利用人員

自治会	人員	自治会	人員
東上町	262	北押羽	125
中勢町	171	岡羽場	511
伊勢町	372	川場	40
横勢町	437	六子塚	269
昭和町	566	中矢島	59
林	43	清水	205
福原	548	中水	27
唐沢	206	松村	157
大島	7	田村	258
飯田	565	雁田	202
山王	254	その他	48
	345	合計	5,677

昭和37年度

